

安芸高田市の歴史をたどる
戦国時代・中国地方の首都

「郡山城下町」その形成と発展 その一

戦国時代、毛利氏の勢力拡大とともに大規模化した本拠城・郡山城。この城の南側に広がる吉田盆地は、交通の要衝として古くから市や町が形成されてきました。毛利元就の晩年、永祿年間（1558～69年）ごろには、郡山城の内堀が廻らされ、城下町も整備されていったようです。図のように、碁盤目状に等間隔の道路がみられ、道筋に沿って町屋や家臣の館が立ち並んでいたようです。この町割り（都市整備）の中で、東西に延びる「たて縄手」と中央南北に延びる「祇園縄手」、さらにその東側の「順礼堂縄手」の交点はそれぞれの道を少しずらした「喰い違い交差」と呼ばれるものです。これは、敵の進行やその視界をさえぎる、戦国城下町の特徴です。また「三日市」や「六日市」などの市がたち、多くの商人や職人が居住していました。現在城下町は市街地化しています。

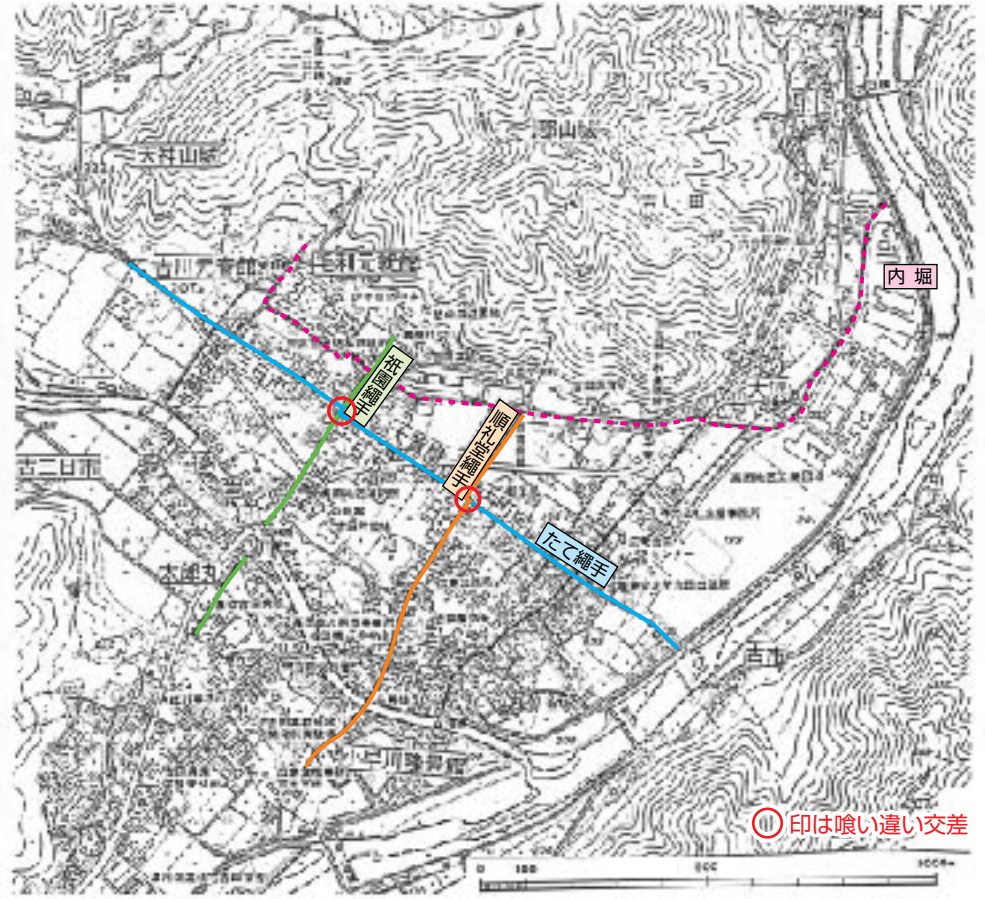


図1 郡山城と城下の町割り（『史跡毛利氏城跡保存管理計画策定報告書』吉田町教育委員会1988年）

市の人口

総人口	34,112人
男	16,397人
女	17,715人
世帯数	13,032世帯
平成16年11月1日	現在

人 輝く・安芸高田

広報あきたかた12

A K I T A K A T A
DEC 2004 No.10

特集 立ち上がった32の地域振興組織 協働のまちづくり



記録更新 204 m
たかみや大地の祭りで今年も巻き寿司が作られた。400名をこえる参加者は慎重に作業を進めていく。完成した巻き寿司を「やったー」と持ち上げた。

発行編集 安芸高田市 企画課 〒731-0592 広島県安芸高田市吉田町吉田791番地 Tel. (0826) 42-5612 Fax. (0826) 42-4376 http://www.akitakata.jp/

特集

立ち上がった32の地域振興組織

協働のまちづくり

今、安芸高田市に全国の注目が集まっている。

それは、市全域に住民自治を行う地域振興組織が立ち上がり、住民と行政とが一緒になってまちをつかっていこうとしているからだ。

協働のまちづくり、安芸高田市が行っていかうとするまちづくりに、全国が注目している。

協働のまちづくり。今一度その意味を考えてみた。

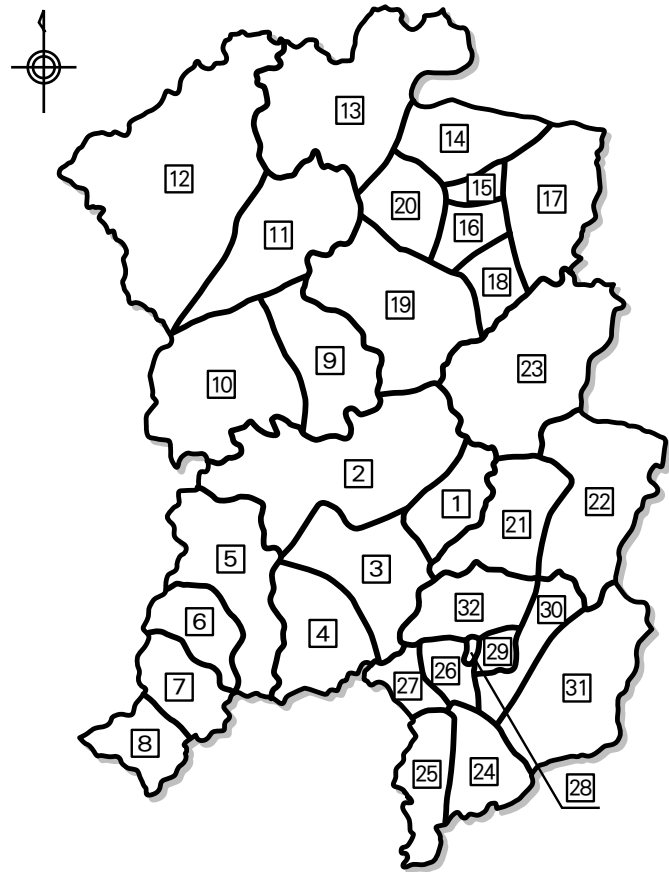
「みんなでワイワイさわごう」

これが、こうだわいわい祭りの合言葉。行政主導で立ち上げたが、現在では実行委員会を結成するのは振興会の面々だ。

とにかくワイワイ、ガヤガヤとの目標のもと、行事スケジュールも盛りだくさん。住民が主体になっているだけに、大勢の住民が主役になれるよう計画されていた。わいわい踊りを踊っただれにも、素敵な笑顔があふれていた。



安芸高田市 地域振興組織 区域図



組 織 名	設 立 年	世帯数	人口
1 吉田地区コミュニティ推進協議会	昭和53年	2107	5196
2 丹比地区コミュニティ推進委員会	昭和53年	597	1612
3 可愛地区コミュニティ推進協議会	昭和53年	1309	3225
4 郷野地区コミュニティ推進協議会	昭和53年	567	1497
5 土師・勝田地域振興会	平成15年 6月	353	834
6 佐々井地域振興会	平成15年 4月	390	1034
7 下根振興会	平成15年 8月	339	1034
8 上根・向山地域振興会	平成15年 7月	431	1224
9 横田振興会	平成14年 3月	336	1055
10 本郷地域づくり協議会	平成13年 7月	324	990
11 北振興会	平成13年 12月	259	756
12 生桑振興会	平成14年 9月	260	705
13 川根振興協議会	昭和47年 2月	263	647
14 下佐振興会	昭和54年 4月	154	393
15 志部府地区コミュニティづくり親交会	昭和58年 1月	48	137
16 上佐一心会	昭和58年 1月	182	495
17 船木振興会	昭和56年 7月	263	625
18 房後連絡協議会	昭和57年 6月	110	280
19 来原地区コミュニティづくり連絡協議会	昭和53年 7月	613	1506
20 羽佐竹振興協議会	昭和57年 12月	148	394
21 小原地域振興会	平成14年 11月	623	1697
22 小田東地域振興会	平成15年 1月	750	2106
23 甲立地域振興会	平成14年 6月	731	2063
24 保垣地区振興会	平成15年 7月	148	345
25 有留地域振興会	平成16年 2月	122	328
26 長田上地域振興会	平成16年 2月	149	367
27 長田下地域自治振興会	平成16年 2月	130	358
28 向井原地域振興会	平成15年 12月	269	695
29 坂下地域振興会	平成16年 3月	216	563
30 坂中地域振興会	平成15年 12月	186	493
31 坂上地域振興会	平成15年 12月	140	336
32 戸島地域振興会	平成16年 2月	469	1224

(世帯数・人口=平成16年4月1日現在 住民基本台帳)

立ち上がった 32の地域振興組織

第1章 協働を問う 今、なぜ、住民自治なのか？

これまでのまちづくり

これまでの行政は、物をつくるまちづくりを行ってきた。しかし、財政的な行き詰まりの中で、合併を選択せざるを得なかった状況においては、物をつくるまちづくりはもう終わりになっていく。これからは、どれだけ住民が仲良く暮らし、充実した地域をつくっていくかが大きな課題だ。



本庁と各支所の地域振興課が地域振興組織の直接の窓口になる。その取りまとめを自治振興課が行う。

くれ、体育館をつくれと好き勝手に言えるじゃないですか。しかし個々の住民の生活の充実を求めるとなると、行政に任せきりではなく、自分たちの行動も当然必要になってくるでしょう。

「合併すると、中心部だけが栄えて、周辺部は廃れていくのではないか」という考え方は、これまでどおり行政に任せとけば何でもやってくれるという考えの人が多い地域では、この言葉どおり廃れてしまうでしょう。田んぼの耕作放棄はどんどん進んでいくでしょう。今は山あいや環境の悪い田が荒れているが、

もう少ししたら家の周りの田んぼも荒れてくる。家の周りが草ぼうぼうで、その人はどう暮らしていくと思いますか？おそらくその地を離れて、どこかに移り住むでしょう。もしも集落全体がそんな状況になってしまったら、その地域はなくなってしまうと思います。もう本当に目の前まで来ていますよ」この問題は市内全域に当てはまるとは限らない。しかし、この集落崩壊が、避けて通れない悩みになっている地域もある。

安芸高田市には自治振興課という住民自治組織を支援する専門の課が設置されている。さらにその課には、川根振興協議会の会長の辻駒健二さんが、地域振興推進員として配置されている。辻駒さんに、今なぜ、「協働」なのかを聞いてみた。

まず話し合う 充実した生活に必要な 住民のつながり

「そこに暮らす人がどう暮らしていくか、そこでずっと暮らしていくためには何が必要か。どういった取り組みが必要かを考えないといけないでしょう。そうすれば地域課題もたくさん出てくるはず。そしてその課題はこれまでの物の課題ばかりではないはず。自分たちの地域の課題。自分たちの力で解決していくことがたくさんあると思います。」

住民みんなで解決に向けて動かないといけない。住民同士をつなぐにも必要だと思っています。地域内で足を引っ張り合っていたのでは、何も解決していきません。また、地域内に『都市化による遠慮』という難関もあるのではないですか？一度には取り除けないかもしれませんが、少しずつ解消していきたいものですよ。

地域行事を取り組む時の、気持ちの持ちようがとても大切だと思っています。例えば地域で草刈りが計画されたとしても、

世話役の人も参加した住民も『やれやれ、めんどくさい』と思っていたとしたら、ただただ苦な時間になってしまってしまうでしょう。だれてしまいケガにつながる恐れもあります。逆に目的をはっきりと定めて、目標達成のために行うと決めていたらどうでしょう。同じ作業をするにしても、絶対に作業ははかどるはずだし、

まずは集まる必要があります。住民自治はイベントからという言葉もあるほど。集まることで会話が生まれる。たくさんの笑顔も生まれる。みんなでワイワイ言うことに効果がある。(こうだわい祭りにて撮影)



今、なぜ、住民自治なのか？

辻駒さんが、自分たちの地域を自分たちの力で何とかしたいといけなさと感じたのは、高宮町時代に行われていた地域振興懇談会がきっかけだったと言う。「懇談会の前に、地域から要望を取りまとめるんですが、みんなはここぞとばかりに、大きなものから小さなものまで課題を出してきます。それをすべて懇談会でぶつけていくわけです。夜8時から始まった会議が、深夜2時からいになったこともありました。これだけの要望をすべて行政がやりきる体力もお金もあるはずがない。よくできて、3分の1くらいのもんでしょ。だんだんと聞いていっているうちに、自分らはええ加減なものだな。自分たちでできるものもたくさんあるのに。役場の人がかわいそうなので」このままではいけないと感じたそうだ。

それからは、地域振興組織が意見を取りまとめる仕組みを作った。意見をすべて行政にぶつけるのではなく、地域で解決できる問題、地域と行政で

住民と行政の協働のまちづくり

辻駒さんが、自分たちの地域を自分たちの力で何とかしたいといけなさと感じたのは、高宮町時代に行われていた地域振興懇談会がきっかけだったと言う。「懇談会の前に、地域から要望を取りまとめるんですが、みんなはここぞとばかりに、大きなものから小さなものまで課題を出してきます。それをすべて懇談会でぶつけていくわけです。夜8時から始まった会議が、深夜2時からいになったこともありました。これだけの要望をすべて行政がやりきる体力もお金もあるはずがない。よくできて、3分の1くらいのもんでしょ。だんだんと聞いていっているうちに、自分らはええ加減なものだな。自分たちでできるものもたくさんあるのに。役場の人がかわいそうなので」このままではいけないと感じたそうだ。



市役所職員全員を対象に、地域づくり研修会が開催されている。講師は辻駒推進員。この研修会の目的は、地域振興組織の取り組みへ職員がどう関わっていくかを考えるためだ。職員も地域へ帰れば住民の一人。安芸高田市最大の企業となる市役所職員の力が地域で発揮されれば、必ず地域は変わる。「このことこそ、まさに合併効果だ」と職員に呼びかけた。

地域を動かすのは組織 組織を動かすのは人

市内に立ち上がった32の地域振興組織、この組織がこれから担う役割は大きい。しかし、人口規模や地域の特色など、置かれている条件は様々。また、組織ができあがった歴史や背景なども違っていている。しかし、地域振興組織の取り組みには、共通するものがあるのでは。辻駒さんはこう言う。

「地域を元気にさせていくのが、組織の役割です。これからは組織の活動のありかたで、それぞれの地域の元気がはつきりと出てくるのではないのでしょうか。地域振興組織の理想は、小さな役場としての役割を担っていくことだと思っています。地域内

やりがいもあるはず。そしてやり遂げた時の感動も多かれ少なかれあるはず。地域を盛り上げていくのは、だれかにやってもらうものではない。自分たちで行っていくものだ。どうせやるならみんな楽しんで、大変なこともみんな分ち合おう、これが充実した生活の原点なのかもしれない。



世帯数50戸の地域振興組織 「志部府地区コミュニティづくり親交会」

高宮町の志部府、竹部迫、上野・吉広の3地区、人口約150人、約50世帯で志部府コミュニティづくり親交会は形成されている。市内で一番小さな地域振興組織。

地域全体で取り組んだ面山森林公園では、都市と農村の交流を目的に、年3回、森の中で農村を楽しむ体験型イベント「森の家族の一日」を開催している。毎回多くの人参加して、好評を得ている。この行事を通じて、地域内のつながりも深まり、地域農業の新たな展開が始まった。親交会の活動を通して心のふれあいと、地域の活性化をさらに強く進めようとしている。



市内最大の地域振興組織 「吉田地区コミュニティ推進協議会」

吉田地区住民で組織する吉田地区コミュニティ推進協議会は、人口約5,200人、世帯数約2,100戸を有する、市内で一番大きな地域振興組織。大型商業施設や総合病院、市役所本庁などもあり、位置的にも役割的にも市の中心となっている。世帯の異動が激しく地域づくりを進めていくには難しい点もあるが、結成以来さまざまな地域活動を行なっている。

平成16年度は規約の大幅な改正を行い、これまでの「行事」中心の活動から、「地域の問題点を地域で出し合い、解決していく」活動に変えていくため、各部会の機能を強化した。

辻駒 健二さん

川根振興協議会会長。就職でいったん川根を離れ、再び川根に戻った時、この地でずっと暮らしていくためには何が必要か考えたという。「自分一人で生きているのではない、地域の中で生かされているのだ」ということを心に刻み日々を過ごしているという。川根地域の自慢は「川根の人全員がともに考えることができ、ともに悩み、ともに行動できること」なのだそうだ。



の一人ひとりの状況が分かる、それだけ地域に根ざしたものが理想的なのでしょう。

そして、その組織を動かしていく人が必要です。リーダーたちだけががんばるのではなく、組織がうまく回っていきません。地域みんなが組織の役割や大切さを理解して、自分のこととして参加して、自分が大切な取り組みというのは、直接自分身のためになるものと、ならないものがあります。しかし、回りまわって自分にいつか返ってくるものです。

地域にはいろいろな特技を持った人がいます。人前で話すのが得意な人。イベントを企画するのが好きな人。何かを作るのが得意な人などみんな何がしかの特技を持っています。皆さんも何かあるでしょう。その特技を地域のために活用してみようと思ってみてください。それは地域の元気に必ずつながっていきます。」



開会式後の準備運動。役員たちの予想をこえた人数が集まった。



パン食い競争は手を使ってはいけないと決めていたわけではない。しかし、みんな手を使わない。



いくつかの行政区をまとめて4つのチームを作った。競技ごとに一番になったチームはバンザイをした。

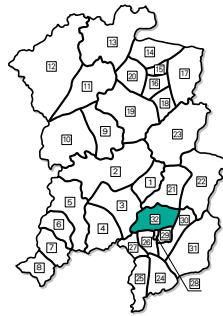


みんな地域の手づくり。入場門からも温かさが伝わってくる。

一歩一歩、 着実に進む

キーワード 住民のつながりづくり
地域で開催した運動会
ふれあい運動会

戸島地域振興会
(向原町)



合併で縮小した地域行事が 合併により再び復活

向原町の戸島地域で、地域の運動会が開催された。振興会が主催して行った運動会。この戸島地域にとっては、実に75年ぶりとなる一大地域行事となった。この戸島地域は、向原町への合併前、旧戸島村としていろいろ

るな取り組みを行っていたが、合併とともに行事は縮小。戸島地域全体での行事は、お盆に開催されていたソフトボール大会だけという状況であった。せっかく地域振興組織が立ち上がったのだから、何かやろうというムードが役員の中で盛り上がった。老人会連合会が行っていた運動会を、振興会が協力

32の地域では、振興組織を中心に住民のつながりづくり、都市との交流、各種研修、生産、福祉、教育などさまざまな目的でいろいろな分野の取り組みが行なわれている。その取り組みの一つひとつが住民自治の歯車の一つになっている。

することで地域全体の行事にさせてもらうことはできないだろうかと案が出た。早速老人会のほうへ相談する。ぜひとも一緒に、できれば全面的にという返事が返ってきた。運動会ができる。だれもが成功に向けて心をついにし、取り組みをはじめた。地域行事の明かりが、再び合併でもった時だった。

だれでも 参加できる競技にして 楽しく愉快に行おう

老人会の運動会だった行事。競技内容はこれまでの競技を基本に考えられた。できるだけ多

くの人が参加することが大切だった。また、この運動会を開催する目的の第一は地域住民の交流。競うことも重要ではあるが、楽しく愉快に行おうと考えられた。大会当日は曇り模様。役員たちの心配は募る。準備の段階ではいつ降り始めてもおかしくない状況だった。運動会が始まった。準備体操の時、ポツポツと雨が降り始める。「止んでくれ」役員も参加者も祈った。雨は上がった。競技が次々と進んでいく。会場が一番盛り上がったのはパン食い競争だった。参加している人は必死に口にくわえようとする。その姿に大き

な歓声と笑いが起こった。午前中で予定どおり運動会は終了した。
この運動会が
つながりづくりの出発点

競技の出場者を事前に決めていたため、「当日の飛び入り参加ができなかった」、「この運動会のことを知らなかった」。後日行われた反省会では、周知などの徹底を図る必要があったと話し合われた。しかしながら役員の間では、一つの行事をみんな力で合わせて取り組めたこと、良い意味でこの運動会を次につなげていこうと確認し合った。

「戸島に住んでいて、意外と知らない人が多いと感じました。この運動会が戸島地域に住む人のつながりづくりの出発点だったと思います。合併するからとできあがった振興会ですが、この組織を中心にみんなで楽しい取り組みが行えていたらよいと思います」役員の一人は、大変さより喜びのほうが大きかったと語った。

研修会は、まず講演から始まった。高美園のスタッフが安芸高田市内の高齢者をとりまく状況を話す。高齢者が一番避けるべきことは、ひきこもりになることなのだそう。家から出ないと、体を動かす機会が減る。気持ちは元気を失う。それが、痴ほうや寝たきりへとつながる

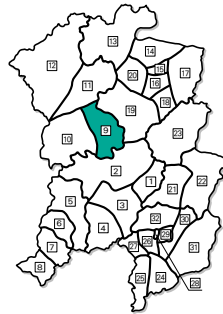
外に出る目的や
楽しみを作る

美土里町横田地域で「福祉」がテーマの研修会が開催された。地域で取り組む福祉、地域で支える可能性を見つけようというものだった。この横田地区は、すぐ近くに高美園という福祉施設がある。また、振興会の役員の中には福祉関係の職についている人もいる。「福祉」というテーマは地域住民にとって身近で関心の高いテーマだった。

ていくのだそう。高齢者に対して周りの家族や地域のみんなができること、それは声かけだという。声をかけて、外へ連れ出す。元気なお年寄りを地域で作ろうというものだった。「人は歳月を重ねるから老いるのではない。夢や希望を失うから老いるのだ」あるリーダーが話していた言葉だ。外に連れ出す目的を作ること、外に出て一緒にやってみようという楽しみを作る。それが、地域が取り組むべき、何歳になっても元気で輝く人づくりなのだろうと感じた。

キーワード 支え合い
何歳になっても元気で輝く
地域で福祉を学ぶ

横田振興会
(美土里町)



だいたい同じ時間に食事をするが、参加者とスタッフは別々。スタッフは仲間と会話を楽しむ。



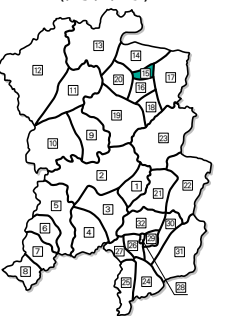
参加者が竹細工をしている時、大地のまつり「料理コンテスト」用の器が試験的に作られていた。



おもしろいようにとれるサツマイモ。何袋もビニール袋がやぶれるほど詰め込まれていた。

キーワード 都市との交流
農村の資源を上手に活用
森の家族の一日

志部府地区コミュニティ
づくり親交会
(高宮町)



「森の家族の一日」は13年間続いている。この行事を行うきっかけとなったのは、地域内にある面に公園整備を行ったこと。公園を利用して、都市の人と交流活動を行わないといけないという約束事があった。地域みんなが集まる機会を作るという目的もこめ、取り組みをはじめた。

客はほったらかしでも
自分たちが楽しむ

今回の内容は、竹を削っておわりと箸づくり。くどで火をたき、飯ごうでご飯を炊く。ご飯が炊けたら、そのくどでバーベキュー。食事の後は片付けて、栗拾いとサツマイモ掘りという内容だ。80名ほどの参加者が集まった。リーダーが半分、そのリーダーの友だちが半分という参加者の構成で、みんな手際良く準備を進めていく。スタッフはみんな何から何まで

お世話をしない。参加者とは一定の距離を保つ。基本的にすべて自分たちで自由にやってもらう。できないことだけを手伝える。竹細工のときも参加者の様子を見ながら、思い思いのものを作る。「お客さんはほったらかしでも、自分らがまずは楽しむ」これが、これから都市住民との交流事業を行う上でのキーワードかもしれない。

参加料はもらっても、親交会の収支というプラスマイナスゼロという。地域からやめようという声は出てこない。地域内の子どもが成長していくにつれ、地域行事がだんだんと減っていった。「みんな日々の生活が忙しいのは一緒。地域のつながりの重要性をみんなが感じているのでしょね。だからみんな、この行事に出てくるんでしょね」スタッフの一人がこう話してくれた。



講師の話の主題は介護保険だったが、話は地域で取り組む福祉へと移っていく。



会場の一部では、最新の介護器具の展示コーナーや疑似体験コーナーなども作られた。



車いすへ実際に乗り、段差を確認する。この段差も地域のリーダーによってつくられていた。

地域活動を追った

今回の2回目の行事は、地域内の探検。名勝や旧跡などの宝物探検だ。上根・向山に住むからには、上根・向山のことを知る事が大切である。実際にみんなで現地を歩き、観察した。当日、カラスの会からの参加もあった。カラスの会のリーダーは、「資源として活用していくために普通より違った視点で見ようとする。心の目で見るよう

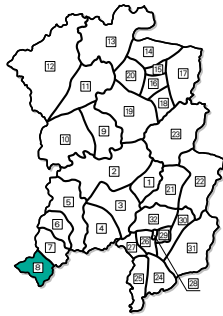
「上根・向山で、可部カラスの会が行っている活動と同じことはできないだろう。しかし良いところは真似て、上根・向山流の地域づくりを行っていききたい」地図づくり、みんなで地域を知る。資源を地域で守り、活用していく。一歩一歩が地域の力になる。まずはできることを、できるところから始めていく。

「普段住んでいるところなのに、意外に知らないところがあった。みんなが地域内を遠足したようだった」とは参加者の話。地域づくり活動で一番大切なことは楽しくできること。この楽しさが、長く続く活動につながる。3回目の行事では、この探検で分かったことを地図の中へ書き込んでいく。

キーワード 地域再発見

まち探検 宝物探し

上根・向山地域振興会
(八千代町)



に心がけて」と呼びかけた。



直接、行政と住民が話し合える場はそうはない。行政にとっても地域の今が分かる良い機会となる。



広い地域、やはりそれぞれの課題がある。地域課題の発表は行政だけでなく参加者にも伝わる。



話を興味深げに聞く参加者。高宮の原田から印内へ抜ける道路の整備にも興味が集まる。

自治懇談会

キーワード 課題を共につかむ

かつてない人数が集まって

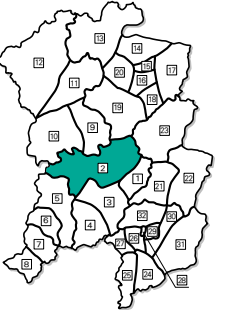
丹比地区コミュニティ推進委員会が、丹比地区全戸に自治懇談会への参加を呼びかけた。市長を招いての懇談会。地域にとっては合併して始めての懇談会。会場となった丹比生活改善センターには、約1000人が詰めかけた。これまでの地区別懇談会に、これほどの人数が集まったことはないという。それだけ、合併後の行政に期待が高いことがうかがえた。

小学校跡地の問題 どう活用するか

市長が市政の近況を説明した後、質問の時間となった。この丹比地区の自治懇談会はテーマが定められていなかった。逆に言えば、いろいろな質問ができる。会場の広さ的にも、参加者数的にも、まさにひざをつき合わせての懇談会の模様になっていく。

丹比地区はとて広い地域で

丹比地区コミュニティ推進委員会
(吉田町)



ある。各地域の置かれている場所や利便性、抱える悩みも違う。司会者の質問を引き出すような上手な進行もあり、多くの質問が出されていた。市長もその質問ひとつひとつに、熱心に丁寧に答えていく。

丹比西小学校の跡地をどうするかという問題は、丹比地域にとって切実な悩みである。この春から吉田小学校に統合されたため、平日のお昼に子どもたちの声は響かない。それは地域にとって非常に寂しいことだという。何か跡地に小学校に変わる役割を持たせ、地域住民の活動の拠点になっていくようにと。

自治懇談会、直接顔と顔を合わせた話し合いは、何かと次へつながることが多い。対話の積み重ねが、地域の分析につながり、それが住民の積極的な地域活動につながっていく。



参加者は班に分かれて、リーダーとカメラ係、地図に落とす係とコメントを書く係に分担した。



この地域内の探検を行なった日、約40名の参加者があった。



「上根車庫の前でバスがブレーキテストをしていたよな」改めて地域を回ることによって思い出す。

32人の地域振興会レポーター誕生

地域振興会レポーターは、地域の情報を発信する役割を担う。地域から行政に情報が届くしくみができあがった。地域の情報が広報あきたかたや安芸高田市ホームページにどんどん掲載されていく。協働の広報紙づくり、協働によるホームページの充実に向けて、取り組みは始まった。

新聞に載ることが元気の源になる

「新聞に載ることを取り組みの励みにしてもらえたらいいですね」中国新聞吉田支局長の中橋一誠さんはこう話す。中国新聞の中

を发表する場が新聞やテレビであったり、市の広報であったり、ホームページであったりするわけです。

新聞に載ると取り組みに誇りが持てたり、元気の源になったりするんだとよく聞きます。また読者から取り組みへの感想や問い合わせが入ると自分たちの取り組みが認められたと感じられるので、新聞もどんどん利用してもらいたいと思っています」。

記事に取り上げられるにはニュースにすることが大事

行事によって掲載されやすい地域行事と掲載されにくい地域行事とがあるという。その違いは何かを聞いてみた。「私たちはニュースを探しています。はじめてのことか。何が新しいかを。地域のボランティア活動、大変すばらしい取り組みですが、どこでも行われているのです。従来どおりだと掲載されにくいです。と、ところが他と同じ内容でもどこか他と違う点、例年の行事でもどこか新しい点を作れば、新聞には取り上げやすくなります。地域の名勝の掃除を『台風で荒

第3章 協働でつくる 32人の地域振興会レポーター誕生

発信する 地域振興組織

各地域振興組織に1名のレポーターがこのたび誕生した。地域振興会レポーターは、地域の情報を発信する役割を担う。地域から行政に情報が届くしくみができあがった。地域の情報が広報あきたかたや安芸高田市ホームページにどんどん掲載されていく。協働の広報紙づくり、協働によるホームページの充実に向けて、取り組みは始まった。

新聞に載ることが元気の源になる

「新聞に載ることを取り組みの励みにしてもらえたらいいですね」中国新聞吉田支局長の中橋一誠さんはこう話す。中国新聞の中

に掲載してある安芸高田市の行事はほとんど中橋さんの取材によるものだ。

「人は汗を流して何かがんばっていることをだれかに知ってもらいたい、評価してもらいたいと潜在的に思っています。これ

れたため」という理由でニュースになります。そしてその新聞掲載が、地域の取り組みの紹介とその名勝の紹介につながっていくのでしよう」。

取材をさせてもらっても掲載されない時が一番つらい

記者として最も気をつけている部分を聞いてみた。「地域の行事を取材する時、この地域の皆さんの立場に立って書くようにしていることです。できるだけ取り組みの意図、準備の大変さなど、地域の皆さんが流す汗の部分に正確に伝えたいと思っています。中にはつらいこともあります。それはせつかく取材をさせてもらったのに新聞に掲載できなかつたときのことです。山県や三次、庄原や東城でより魅力的な記事があると優先されてしまいます。また、安芸高田で2つの記事があると紙面の都合で削られてしまうこともあるでしょう。絶対載るだろうと思って書いた記事が載らなかつたときはつらいです。そして地域の皆さんにも申し訳ないと思えますね」。



志部府地区コミュニティづくり親交会レポーター

藤井 美智子さん

志部府は竹が多い地域です。何かにつけて、竹でいろいろ作ります。先日あった大地の祭りの料理コンテストの器も竹で作りました。



四川根振興協議会レポーター

藤本 悦志さん

若い世代が活動に参加しないというのは、きっかけがないからかもしれない。まんざらみんな苦手というわけでもないと思います。



四北振興会レポーター

佐々木 忠則さん

北では炭焼きがまを作るかと話しています。技術伝承や山林有効活用などが目的です。伝統を途絶えさせてはいけないと思います。



回横田振興会レポーター

寄実 正次郎さん

地域の新聞を5名のメンバーとともに取り組んでいます。タイムリーな情報を出していくことを目標にしています。



四下根振興会レポーター

西村 正諳さん

長年、仕事で昼に地域を離れていることが多かったので、定年になっている地域のことを勉強しています。レポーターになり、アンテナを少し高く張っておこうと思います。



四土師・勝田地域振興会レポーター

籠田 昭造さん

土師ダムの桜はみんな一斉に高齢化しています。間伐など、そろそろ何かの手立てを行わないと感じています。



四可愛地区コミュニティ推進協議会レポーター

末長 量平さん

「えーのー」の入口にある地域の未来像を描いた絵の実現に向けて、みんなと一緒に夢を追いかけていきたいと思っています。



四吉田地区コミュニティ推進協議会レポーター

檜山 義夫さん

3年前に吉田に来たので、だんだん地域のことが分かってきたくらいです。地域の皆さんとのつながりを作るため、社協のボランティア活動も行っています。

32人のレポーターたちに一言、聞く。



四上佐一心会レポーター

三戸 法生さん

盆踊りとか花田植とか文化活動を中心に行ってきた団体です。昔は一心盆踊りで呉や広島市民球場へ踊りに行っていたそうです。



四下佐振興会レポーター

持丸 節子さん

市長さんの分かりやすく話されるところが好きです。たかみやの盆踊りで市長さんが踊られたときは、みんなで声援を送りました。



四桑振興会レポーター

津賀山 泰佑さん

地域の全員が振興会の会員。振興会の情報が自分で作る振興会だよりでいかに分かりやすく伝えるかがこれからの課題だと思っています。



回郷地域づくり協議会レポーター

加藤 學さん

先日、市長を招いて自治懇談会を開催しました。小学校跡地のことで話ができて、私たちにとって有意義な会議でした。



四上根・向山地域振興会レポーター

神川 義幸さん

根の谷にあるレストランを地域で整備していただくと話合っています。今年その周辺の手入れを行いました。



四佐々井地域振興会レポーター

増田 玲子さん

大勢集るといろいろな特技を持った人がいるものですね。それを持ち寄ったら、なんかおもしろいことができそうな気がします。



四郷野地区コミュニティ推進協議会レポーター

清水 恵子さん

郷野にはのんびりとした地域性があると思います。この地域性をメリットとらえ、隣近所が助け合える地域であり続けたいと思います。



四丹比地区コミュニティ推進委員会レポーター

花房 鶴子さん

だんだん都市化しているのが分かります。地域内の関係が昔とは違ってきます。本当にこのままで良いのかよく考えています。



レポート第1号は
幸田レポーターが。
市ホームページ
「安芸高田の風景」へ

この地域振興会レポーター、地域振興組織の会長へ地域の中から1名を推薦していただくよう依頼し、その推薦者の了解を得てレポーターになっていただいた。レポーターには「まずは情報の提供と、行事の際には写真の撮影を」と役割をお願いした。早速に向原町戸島地域振興会レポーターの幸田明久さんから情報を提供していただいた。老人会とひとは作業所とのさつま芋掘りの交流である。この記事は、市ホームページのトップページに掲載した。このたびの地域振興会レポーターによる初めての投稿だった。

何気ないことでもいい
とにかく情報の提供を

このたび市内に32名の地域振興会レポーターが誕生した。地域振興組織に一人配置されたこのレポーターは、地域から行政への情報発信の窓口の役割を果たす。この振興会レポーターのことを知った中橋さんは大歓迎の様子だった。「私たちは情報を本当に求めています。皆さんにとって何気ないことでも、この地を離れて暮らす人にとってみればニュース要素を持ったことが多いものです。ちよつとしたことでも構いません。テレビや新聞などにとりあえず情報提供するという気持ちを持ってもらえたら助かります。行事の日時と場所、簡単な内容を2・3行程度書いてフアックスしてもらえたらと思います。この2・3行にどれだけ興味をひかされるか。この2・3行が話の中心になってくる部分になります。ニュースになるかどうか判断させてもらうものになります。地域振興会レポーターの皆さんの情報は、貴重な情報源として期待しています」。



中橋 一誠さん

中国新聞の吉田支局長。この地への配属が決まったとき、安芸高田の情報はとても乏しかったという。それでも取材の一つ一つから幅が広がり、独自の情報収集ネットワークを構築している。この広報紙の取材中もしきりに携帯電話に取材依頼の連絡が入っていた。2・3日前に取材の連絡があると助かるそうだ。



図坂上地域振興会レポーター
京極 博さん

新聞やテレビの力は大きな効果あると思います。地域内のかたくりや花しょうぶの時期もPRしてもらおうとお客様の数が全然違います。



図坂下地域振興会レポーター
小野 博明さん

振興会は子どもからお年よりまでと会員の年齢幅が広いので、人を知る機会づくりから始まるのかなと思います。



図長田下地域自治振興会レポーター
田槇 昭さん

自分たちの行事が新聞に載ると、そのことでまた笑い話ができるようになります。地域のつながりがさらに深まる気がします。



図有留地域振興会レポーター
佐藤 正彦さん

地域に誇りを作ろうと、今度2日間も渡り地域内を歩いてみることにしています。まずは地域を知ることからはじめていきます。



図甲立地域振興会レポーター
中本 和明さん

区の行事にどんどん参加して、地域内交流をしていく予定です。まずどんな取り組みがあるか知り、振興会の地盤を固めていく予定です。



図小原地域振興会レポーター
田村 元さん

振興会の行事にはすべて「小原ふれあい感謝祭」と名づけ、記録ビデオを各基本振興会に1本残しています。来年への参考と地域内の話題づくりのためです。



図来原地区コミュニティづくり連絡協議会レポーター
岩見 孝志さん

地域の事務局担当です。最も大きな行事は「さんばい祭り」という花田植えでしょうか。地域をあげてのお祭りになっています。



図船木振興会レポーター
中野 浩明さん

2000年にできた公民館は地域の自慢の建物です。設計から話し合いに加わっていきました。高齢者にも優しい建物になっています。

32人のレポーターたちに一言、聞く。



図戸島地域振興会レポーター
幸田 明久さん

仕事をしているときより、今の方が忙しいかもしれません。振興会の活動はいろいろな分野の人との出会いがありそう、それが楽しみです。



図坂中地域振興会レポーター
二井 正美さん

地域内のソフトボール大会に応援を含めて約100人集まり大盛況でした。地域全員が何か地域とかわりを持つことが大切でしょう。



図向井原地域振興会レポーター
岡崎 耕二さん

この地域には自主防災組織があります。初期消火の訓練以外にも、炊き出しなどの活動もやってみようと思っています。万が一に備えて。



図長田上地域振興会レポーター
三上 信行さん

振興会行事も小さな取り組みが原点だと感じます。かたくり祭りは一人の取り組みから地域全体のイベントへと広がっています。



図保垣地区振興会レポーター
出木原 續二さん

青年グループ「照山会」の活動は盛んです。大田川の源流になることもあり、他市の小学生を巻き込んで環境の勉強も行っていきます。



図小田東地域振興会レポーター
大前 直行さん

ビデオカメラが好きで、始めのころから使っています。地域行事を映像で残すこともいろいろ考えています。



図羽佐竹振興協議会レポーター
正田 一義さん

香六ダムは釣り堀になっています。ルアーで釣るのですが、料金が必要です。ニジマスなどが放されているみたいです。



図房後連絡協議会レポーター
柁川 良明さん

地域の新聞を作っています。中には誤字脱字もあります。「違うよ」としてもらって読んでもらっているのだと実感します。

注目される安芸高田

3月1日から10月までの8カ月間で、安芸高田市へ住民自治を学びに大勢の人が訪れている。その数は50件近い数である。ほとんど県外から、遠くは北海道や鹿児島県からの訪問者もある。この視察者たちに共通していることは、合併を控えている自治体が訪れているということだ。

全国から住民自治を学びに川根へ訪れている

エコミュージアム川根に、京都府京丹後市網野支局の区長会の面々が到着した。車で7時間かけてきたという。この京丹後市は今年の4月に6つの町が合併してできた自治体だ。旧町の一つ、網野町の自治体の会長たちは自分たちの自治会での取り組みのヒントを得ようと訪れた。

この日、区長たちの前には川根振興協議会の会長として辻駒さんが立った。辻駒さんは、川根のこれまでの生い立ち、振興協議会設立の取り組み、いろいろ

と取り組んできた経過などを飾らず普段着のまま話していた。

辻駒さんの話を聞いた区長の一人は次のように語る。「川根への感想は、すごい一言です。生まれて育った地域を守りたいというリーダーたちの想いと、それについていく地域の人びと、また行政とのかかわり方、まさにそのとおりだなと感じました。地域を一体として考えることや地域の誇りをつくることなどは、これからの参考にさせてもらおうと思います。

京丹後市は、区の活動を活発にして6町が均衡ある発展を目

ともに考え、ともに悩み ともに行動する地域、川根

として跡地の活用方法を提案した。これがエコミュージアム川根だ。何から何まで地域が運営する宿泊施設。元の中学校の建物の材料がいたるところに使われている。川根中学校は川根の人たちの心にしつかりと残されているという。

振興協議会へは全員の全員が加入 会費は年会費とそれに合わせて

川根地域は全戸の全員が振興協議会へ加入している。そして会費も集めている。年会費は戸別1,500円、合わせて行事を行なうときは別個に地域から賛助金(お花)が寄せられる。毎年、平均すると年間に戸別で1万5,000円弱を集める。川根地域の住民は、金も出し、口も出す。

地域の誇りをつくった

川根には自慢できる史跡や名勝がなかった。人を呼び込むためには、自分たちが自慢できる何かが必要だった。川根の人た

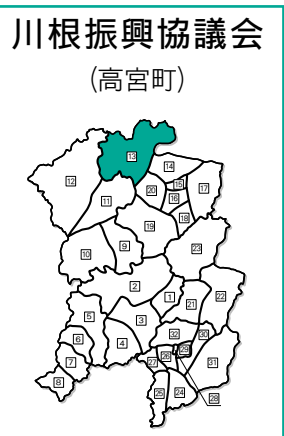
自分たちの夢を詰めこんだ エコミュージアム川根

川根中学校の統合話は、川根地域にとってどうしても素直にうなづくことのできない、行政からの提案だった。教育施設がなくなることは、心の寂しさを生む。

中学校統合のかわりに、地域



エコミュージアム川根は、川根地域の住民自治のシンボル。運振興協議会を中心に20の組織で出資した協議会で運営している。



ちは、この自慢できるものを自分たちで作る取り組みをはじめ。地域全体を「自然生態博物館」ととらえ、川根の自然を自慢しようと決定した。これ以来、川根で行われる川や道路・田んぼの改良工事は、すべて人にも動植物にもやさしい工事を行ってもらうよう提案している。



川根の将来構想図「川根夢ろまん宣言」を作成したことで、取り組むべきことが具体化した。



昭和47年の災害で川根は壊滅的な被害を受ける。同じ年、川根振興協議会が設立。災害復興と地域の将来の危機感からの設立だった。



エコミュージアム川根の中で、川根の取り組みを聞く京丹後市の区長たち。自然と身を乗り出して、聞いている姿が印象的だった。会議のジュースは川根特産の「柚子じゅうす」。



ほたる祭りの出展、角ずしにあじさいの花をのせるというひと工夫。これで雰囲気が変わる。ひと工夫が商品も地域も人も変える。



地域の伝統を子どもたちに伝える。花田植えにも積極的に巻き込む。地域の誇りを少しでも感じさせるように。



ジュースやゼリーなどの特産品に加工されるためのゆずが運び込まれる。地域にある資源を活用した取り組みの一つである。



エコミュージアムで宴会用に作られた料理。地元のお母さんたちの味をそのままである。飾り付けにもこだわりが。

自分たちで考えてつけた道路

ほたるまつりをきっかけに道路を広げようという話を持ち上がった。その道路がつく地域が全員が集まる。どこにつけようかという話し合いだ。道路になる部分は田んぼ。みんな自分の土地は手放したくない。しかし、ここで川根地域全体のことを考え、前向きに話が進む。道路用地はその寄り合いの中で決定した。行政に任せていたらまだ工事に取りかかってもらえていないかもしれないと地域の人はいう。

地域全体でものを考える

川根では中山間地域等直接支払制度に取り組みにあたり、地域全体を1団地として農地を守っていくよう申請した。川根地域ではこの制度で、農地を守っていくことと、全地域にわたる交付金を受けるといふ2つの利を得た。

地域ですつと暮らしていくため

農協川根支所の撤退は、高齢者にとって大きな問題だった。

食料品を買えるお店がなくなるのか。農協へ地域に払い下げてもらうよう依頼する。

支所跡地を払い下げてもらい、ガソリンスタンドと食品販売は継続して行われるようになった。地域で守っていくため、各戸1,000円出資した。「企業として経営が成り立たない店を、地域でどう経営していくのか」という声も上がった。「地域で経営する以上、収支がすべてではない。車に乗って買い物に行けない人の生活の充実が目的だ。また今まで以上に自分たちが使えば、収支も改善していくではないか」こうした結論で地域に根付いた経営は続いている。

いつかは自分がお世話になる

川根地域全員で、取り組んでいることがある。1日1円募金だ。手づくりの竹づつの貯金箱に毎日1円を入れていく。

この募金、地域で行われる一人暮らしのお年寄りへの給食サービスに費用にあてられる。年を重ね、いつかは自分もサービスを受ける立場になる。田舎での暮らしは助け合いが大事。地

域で行う福祉はだれもが平等に公平に受けられねばならない。また受ける人が何の遠慮もなく受けられるようにと考えられている。

田舎で暮らす価値観を教える

子どもたちの教育にも積極的に参加する。小学校の先生たちとも連携を図っている。地域から学ぶ総合的な学習では、しっかりと地域のすばらしさを学ばせる。地域に応じた教育が必要だと考える。その面では先生たちへの期待も大きい。

また地域でも教育を行う。もやい塾と名づけられたこの行事は、毎月第2土曜日に開催されている。教えることは、人として生活する上で必要なことや、元気に外で遊ぶ楽しさなど。学校では学ばないことを学ばせる。「毒ヘビの見分け方」「食べておいしい木の実」などから「ごはんをこぼしたら拾って食べる」「正座がまんする」などさまざまだ。

全員が主役に

川根の取り組みは、リーダーを中心に男性も女性も、子ども



ほたるがもどってきた水路の整備。住民も川そうじや環境学習、家庭排水対策などでほたるを守る取り組みを行う。



自分たちで考えて作った道路。自分たちで用地交渉まで行う。これまでの道幅くらいの歩道がついた。ほたる祭りで何人きても大丈夫だ。



「心を寄せ合い温かい世の中を」貯金箱に書かれた言葉。支えあう地域を目指して、振興会が貯金箱を作っている。



地域で経営する商店。商品のやりとりだけでなく、会話から心のやりとりも生まれる。依頼があれば配達も行う。



取材を終えて

川根に全国から注目が集まるのはなぜか、取材の中から考えてみた。そこから見えてきたものは、川根に住む人のことである。川根には、昔も今も地域のことを一生懸命に考える人がいた。地域の行事を我が事として取り組む人がいた。地域住民の協力が無限の力を生む。川根ですっと暮らしていくために必要なことを、行動におこせる人たちがいた。

地域を動かしていくのは、人数ではない。むしろ気持ちの数。大きな地域でも、小さな地域でも、「自分たちの地域を自分たちの手で何とかしてやろう」という気持ちを持つ人が多いところが発展していく。逆にだれかがやるだろうと人任せのところは、現状を維持していくのがやっとだろう。

地域振興組織の取り組みには積極的に参加していきたい。リーダーたちは必死になって地域のことを考え、少しでも地域のためになればと取り組んでいる。小さな少しずつの積み重ねが、豊かな温かい地域へとつながっていく。

子どもたちのそり遊び。何度も何度も繰り返す。登ってはすべり、登ってはすべり。地域づくりも繰り返すことで、成長し、歴史をきざむ。順調にすべり出した地域もある。やっとすべり出した地域もある。安芸高田市もすべり出したばかり。32の地域振興組織とともに。

楽しく遊ぶ子どもたち、本当に目が輝いている。

「人 輝く・安芸高田」

ひとりひとりが輝けば、地域が輝き、^{まち}市が輝く。

特集 立ち上がった32の地域振興組織
協働のまちづくり

おわり





プロのコーチにサッカーを習う ふれあいサッカーフェスティバル

11月7日(日)吉田サッカー公園で、ふれあいサッカーフェスティバルが開催されました。午前中は小学生のサッカー実技指導が行われました。子どもたちは学年ごとに分かれ指導を受けます。サンフレッチェ広島ユースの森山監督やコーチ陣、県のサッカー協会の指導者、三矢の里サッカークラブの指導者、吉中のサッカー部員などが指導にあたりました。午後からは、森崎兄弟や駒野選手などユース出身の6人の選手たちがかけつけ、このイベントに華を添えました。



晴天に恵まれたみんなのお祭り 向原町「第18回きてみん祭」

11月7日(日)安芸高田市向原支所付近を中心に「きてみん祭」が開催されました。今年で18回目を迎えたこのお祭りは、向原町の各種団体が協力し合って運営されています。催し物会場となった支所前のステージでは、各団体による踊りやプロ歌手による発表などが行われました。また、クイズ大会や餅つきなども行われました。たくさんの屋台も出店され、終日大勢の人で賑わいました。



アツイぜ、パフォーマンス歌合戦!! 八千代町第4回およりん祭

11月7日(日)八千代産直市で八千代町商工会主催の第4回およりん祭が開催されました。ステージ、シャボン玉・木工・つる籠細工などの無料体験、展示、パザーなどにより終日大盛況でした。祭りのメインであるパフォーマンス歌合戦は今年初の試みでしたが9組の出場があり、歌・ダンス・仮装等それぞれ趣向を凝らしたステージが繰り広げられ、客席を大いに沸かせていました。



自分で作った笛から音が出た 安芸高田市むかいほら農林大学

11月7日(日)向原農村交流館やすらぎでは、安芸高田市農林大学が開催されました。この講座は、年に3回、都市住民を対象に、四季折々の農作業を体験できるようにと財団法人安芸高田市農林業振興公社が主催して開催しています。この日は、黒大豆を使った豆腐づくりと竹での横笛づくりが行われました。横笛作りでは完成後、自分でつくった笛を実際に吹いてみます。息の入れ方、くちびるのあて方を少しずつかえ、少しでも音が出ると大喜びでした。



世代を超えてグラウンドゴルフを楽しむ 八千代町民スポーツフェスティバル

10月3日(日)八千代中央グラウンドで、八千代町民スポーツフェスティバル(グラウンドゴルフ大会)が開催されました。各地域から30チームの参加がありました。当日は早朝から小雨が降り実施が心配されましたが、受付開始時には雨も上がり、予定通り行われました。会場は子どもからお年寄りまで世代を超えた交流があり、珍プレーや好プレーで寒さを吹き飛ばすほどの歓声で盛り上がりました。



いただいた本は大切に、しっかり読みます 「上田豪士文庫」寄贈記念式

美土里中学校と美土里小学校は、町出身の上田豪士さんからたくさんの本の寄贈していただきました。10月27日(水)、そのお礼の気持ちを伝える記念式が開催されました。児童生徒代表は、「いただいた本の中に大好きな本がありました。大切に、しっかり読みます。」とお礼を言いました。上田さんから、「本は歴史の中でつくられた文化です。大切に、楽しんで読んでください。そして、心豊かな生活を送ってください。」と話していました。



日に日に色づくかえでを眺めて 唯称庵かえで祭り

11月6日(土)甲立地域振興会内の22区振興会が主催した唯称庵かえで祭りが開催されました。かえでを見学に来た人にお茶でも振舞おうと取り組みをはじめ、今年で4年目になりました。かえでの説明資料を作ったり、パザーを行ったり、今年は初めてライトアップを試みています。「年々、内容を充実させています。この景色が地域だけの財産でなく、町、市全体の財産となっていくなればいいですね」と地元の人は話しました。

AKI TAKATA
My Town Topics

ホット
な
話題

このコーナーは市内のいろいろな出来事を紹介するコーナーです。皆さんの身近な出来事を知らせてください。

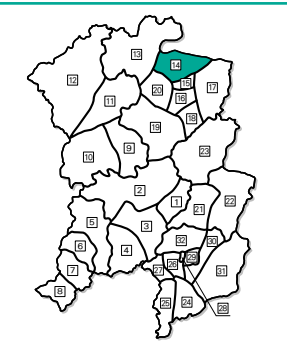
連絡先 安芸高田市 企画課
TEL 42-5612
〒731-0592 安芸高田市吉田町吉田791番地
Eメール info@akitakata.jp

子どもたちのふれあい活動

10月17日(日)国立三瓶青年自然の家へ、下佐の子ども約26名とともに、振興会も協賛参加しました。船佐小学校で2002年まで5年間続いてきた「たてわりふなご学習」(子どもと大人との縦のつながりをもって「地域の宝物」を大切に育もうと行なわれていた学習)が学校5日制に伴い終了し、大変残念に思っていました。別な形で子どもたちと関わりを持っていこうと、振興会も子ども会行事への参加や、バックアップをしているところです。



下佐振興会レポーター 持丸 節子



総勢52人でバスに乗り込み、三瓶青年の家に到着。子ども大人混成チームによるウオーケラリーを楽しみました。昼食はバーベキュー、みんなで準備を行います。午後からは3,000年前の杉埋没林の地下保存場で研修をしました。3,000年前の目の大木に私たちも感動しました。ウオーケラリーやバーベキューの準備で地域の大人たちと一つことにみんなで取り組むことの大切さ、太古から続いている大自然の不思議を感じたことと思います。

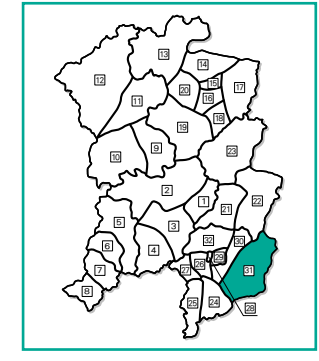
振興会 レポート

32の地域振興組織の取り組みを紹介するコーナーです。

坂上地区高齢者スポーツ大会

去る10月21日(木)午後1時から、寺山地区多目的集会所において「坂上地区高齢者スポーツ大会」が開催されました。

坂上地域振興会レポーター 京極 博



坂上地域振興会と地元の老人クラブ白寿会と睦会の共催により、約70人の参加者により盛大に開催されました。当日は秋晴れの晴天となり、開会式のあと、輪投げ・ゲート通し・玉入れ等の競技が行われ、和気あいあいとした雰囲気の中で競技が行われました。競技終了後はビンゴゲームで盛り上がりました。遠方の人はふれあいサロンが送迎を行うなど、少しずつ協力の体制が広がっています。

お役立ち情報

- 市役所本庁
TEL.42-2111代
(総務部、自治振興部、市民部、福祉保健部)
- 市役所第1分庁舎
TEL.47-4021代
(産業振興部)
- 市役所第2分庁舎
TEL.47-1201代
(建設部)
- 市役所第3分庁舎
TEL.42-0049代
(教育委員会)
- 消防本部
TEL.42-0931代
- 八千代支所
TEL.52-2111代
- 美土里支所
TEL.54-0311代
- 高宮支所
TEL.57-0311代
- 甲田支所
TEL.45-4111代
- 向原支所
TEL.46-3111代

表彰

平成16年秋の叙勲 (11月3日付け発令)



●瑞宝双光章 教育功労
向井 慧さん(八千代町)
元公立中学校長

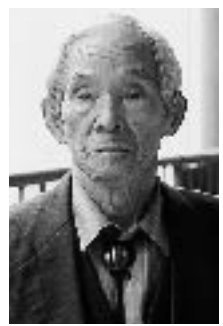
昭和23年から38年間教師として、また、その後18年間教育委員長として教育職に従事。「色々な人や団体の方々にお世話になりました。自分の人生を振り返ってみて、今の教育でいいのだからかと、多少の不安を感じています」と語ってもらった。

第3回危険業務従事者叙勲 (11月3日付け発令)

●瑞宝単光章 矯正業務功労
垣原敏夫さん(向原町)
元 法務事務官



昭和27年から39年間、法務事務官として困難な矯正の職務に従事。「勤務当初の拘留所は木造で不十分な施設だったですね」と語ってもらった。以来一貫して身の危険もかえりみずその職務を全うする。



昭和21年から31年間、広島県警察官として主に、最も危険な捜査の第一線で職務に従事。「争いが絶えない世界の情勢を見たとき、あらためて治安を維持することの大切さを感じています」と振り返ってもらった。

平成16年秋の褒章 (11月3日付け発令)



●藍綬褒章 更生保護功績
菊山サカエさん(高宮町)
元 保護司

27年間保護司として、罪を犯した人の社会復帰に尽力する。ある時は母として、ある時はおばあちゃんとして接してきた。「身近なところで事件が起きることが一番悲しいですね。」と語ってもらった。



●地域教育行政功労者表彰
吉田町の平田武幸さんが受賞



AKITAKATA Information

文部科学省では、地方教育行政に功労が特に大きな教育委員会の委員長、委員、教育長のその功を報いるとともに地方教育行政の発展に役立てるため文部科学大臣表彰を行っています。

このたび、吉田町の平田武幸さんが受賞されました。

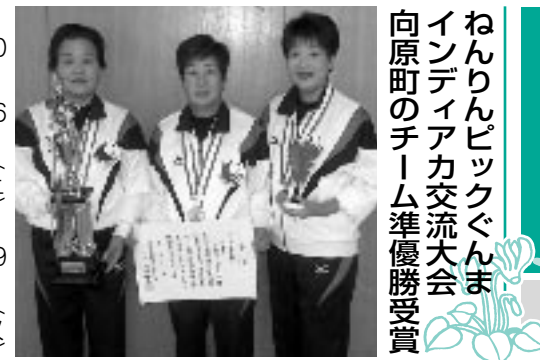


●けんみん文化祭ひろしま'04
大正琴の部で最優秀賞を受賞

10月17日(日)府中市の文化センターで、けんみん文化祭ひろしま'04「民謡民舞の祭典」が開催されました。この

中の大正琴の部で、八千代町のうぐいす会が見事最優秀賞を受賞しました。

スポーツ



●ねりんピックぐんま
インディアカ交流大会
向原町のチーム準優勝受賞

10月16日(土)〜19日(火)に群馬県子持村で第17回全国健康福祉祭群馬大会ねりんピックぐんまインディアカ交流大会が開催されました。初めて種目に加えられたインディアカ競技に向原町から植信子さん、中邑明子さん、川崎香苗さんが出場し見事準優勝に輝きました。

お役立ち情報

- 市役所本庁
TEL.42-2111代
(総務部、自治振興部、市民部、福祉保健部)
- 市役所第1分庁舎
TEL.47-4021代
(産業振興部)
- 市役所第2分庁舎
TEL.47-1201代
(建設部)
- 市役所第3分庁舎
TEL.42-0049代
(教育委員会)
- 消防本部
TEL.42-0931代
- 八千代支所
TEL.52-2111代
- 美土里支所
TEL.54-0311代
- 高宮支所
TEL.57-0311代
- 甲田支所
TEL.45-4111代
- 向原支所
TEL.46-3111代



AKITAKATA Information

第17回全国スボレク祭 ゲートボール大会で1位



10月3日(日)と4日(月)福井県の敦賀市で、第17回全国スボレク・レクリエーション祭のゲートボール大会が開催されました。この大会に広島県代表として、吉田町の中川章さん、中口武さん、河野栄さん、日野三男さん、東野八ルミさん、近国佳子さん、山崎彰子さんが出場しました。1日目が予選で、2日目が決勝大会です。1日目は、富山県と若手県のチームに勝ち決勝大会へ。2日目は京都府と兵庫県のチームに勝ち、見事コート優勝を果たしました。

第29回広島県民体育大会 剣道競技 男子の部 優勝



11月7日(日)広島県民体育大会剣道競技が県立総合体育館武道場で開催されました。この大会に安芸高田市を代表して出場した高宮町の春霜会(浅原晃監督)が見事優勝の栄誉に輝きました。8月に行われた市の総合スポーツ大会で優勝し、この県民体育大会の出場権を獲得。当日は先鋒・亀井徹さん、次鋒・上野康彦さん・中堅・田中道俊さん、副将・上野文彦さん、大将・桑岡靖爾さんという布陣でのぞみました。

催し物

安芸高田市内人権週間事業 人権推進課 TEL.42-1126 (吉田地域)

- 【ハートフルフェスタよした】
(人権文化祭)
■とき 12月5日(日)午前10時〜
■ところ 吉田人権会館
■内容 ステージ発表、展示発表、バザーなど

- 【人権パネル展】
「人間回復・ハンセン病を知ろう」
〜長島愛生園の紹介とハンセン病について〜
■とき 11月28日(日)〜
12月12日(日)
■ところ 吉田公民館
- 【八千代地域】
(美土里地域)
■とき 12月5日(日)午後1時〜
■ところ 八千代文化施設 フォルテ

- 【心耕祭】
■内容 ○人権標語優秀作品表彰 ○青少年の声を聴く会 ○人権講演会(講師 ヒーリスト 三浦裕美さん)

- とき 12月5日(日)午後1時〜
■ところ 美土里生涯学習センターまなび
- 内容 ○ビデオ上映 ○人権標語展示 ○各種芸能発表 ○文化芸術作品展示

- 【高宮地域】
世界人権宣言56周年記念大会
■とき 12月10日(金)午後6時〜
■ところ たかみや人権会館
- 内容 人権文芸賞発表と表彰

- 【甲田地域】
「ひと輝くまちづくり講演会」
■とき 11月30日(火) 午後6時30分〜
■ところ 甲田若者定住センター「ミューズ」
- 内容 講演 講師 人材育成コンサルタント 辛 淑玉さん

- 【向原地域】
ふれあい学習会
■とき 12月11日(土)まで
■ところ 向原町内集会所など 8会場
- 内容 講演会 テーマ「わたしたちが明日をつくる」
〜ともに支え合う地域づくり〜
講師 ひとり親家庭 サポーター 天野 和昭さん

安芸高田市文化創造センター 「クリスマスコンサート」 吉田教育分室 TEL.42-2411

- とき 12月26日(日)午後2時〜
■ところ 安芸高田市文化創造センター
- 内容 日本各地で活動されている若手10名の演奏者によるクリスマスコンサート ○ナレーションの物語と音楽
- 協力券 大人500円・子ども100円(中学生以下)
- 演奏曲目 クリスマスメドレー・情熱大陸より「エトピリカー」・冬のソナタほか

- 入場料 無料
- 小田 朋義 写真展
12月3日(金)〜12月13日(月)
- 入館作家小作品展
12月17日(金)〜12月27日(月)
- 12月28日(火)〜1月4日(火)までは年末年始休み

- 開館時間
午前10時〜午後5時
- 入場料 無料
- 小田 朋義 写真展
12月3日(金)〜12月13日(月)
- 入館作家小作品展
12月17日(金)〜12月27日(月)
- 12月28日(火)〜1月4日(火)までは年末年始休み

サンタさんも来るよ。なかよし広場 クリスマス会とお楽しみ会

- 吉田保育所 TEL.42-0662
- とき 12月22日(水)
- ところ 吉田保育所
- 申込期限 12月15日(水)まで
- 会費 大人200円
子ども無料

(会食を計画しているので、申し込みと会費をお願いいたします。また、会食用にお子さんの使いやすいスプーンやフォークなどもご持参ください。)

■内容 3歳未満児クラスのあなたたちと歌や手遊びなど一緒に楽しみましょう。
※園庭開放は12月14日(火)です。

けんみん文化祭ひろしま04 芸北地区フェスティバル (安芸高田会場)

- 甲田教育分室 TEL.45-4311
- とき 12月12日(日) 午前9時40分〜
- ところ 甲田若者定住センター「ミューズ」
- 入場料 無料

■内容 市内各町より「演芸の部」として合唱・銭太鼓・大正琴・芸能・日本舞踊・新舞踊・民謡民舞・邦楽・洋楽・吟詠剣詩舞道など24団体の

出演、「文芸の部」として俳句・短歌の作品展示があります。また、甲田町女性会によるバザーもありですので、みなさんごお越しください。

わんぱく冒険隊〜冬〜 吉田少年自然の家 TEL.42-2311

- とき 1月15日(土)〜16日(日) 一泊二日
- 対象者・定員 小学1年生〜3年生 30人 応募多数の場合 抽選
- 参加費 4,800円
- 内容 ネーチャージェーム 目指せ名探偵 魔法の黒い鍋 他

■申し込み ①参加者名(ふりがな)②性別③学校名/学年④年齢⑤住所⑥電話番号⑦保護者名を記載のうえ、12月14日(火)までに、はがきかファックスにて申し込みください。

県立3大学・ 地域貢献シンポジウム 広島県立大学学術交流センター TEL.08224-74-1000

- とき 12月3日(金) 午後2時〜6時
- ところ 田園パラッツオ (高宮町)

■テーマ 「地域を支える組織とひとびと」
■参加費 無料

募集

弓道経験者の皆さんへ 伝統を伝えていきますか?



安芸高田市内には弓道経験者がたくさんおられると思いますが、今のところ弓道道場などの施設や同好会などのサークルもありません。

将来的に弓道同好会を作り、今の若い人たちに伝統を伝えていきたいと考えています。弓道経験者の方、意見に賛同される方を募集しています。一度皆さんで集まり、話し合いをしたいと考えています。

- 連絡先
- 末兼 康弘 TEL.46-12620
- 水頭智恵登 TEL.46-12815

高田家族会では仲間を募集しています。

高田家族会は安芸高田市内に住む、精神障害者の家族で構成している集まりです。精神

疾患の理解と障害者の家族としての役割、地域への啓発活動に取り組んでいます。「一度話を聞いてみたい」など体験参加も歓迎します。ご参加ください。

- ところ 清風会支援センター (吉田町竹原967番地)
- ※開催日時など詳しくは、お問い合わせください。
- 問い合わせ先
高田家族会代表
岡田美代子 TEL.43-0827
- 清風会支援センター
TEL.43-0611

吉田幼稚園 園児募集 学校教育課 TEL.42-0360

- 対象・定員 安芸高田市に住所があり、来年の4月1日で満4歳と5歳の幼児それぞれ35名
- 保育内容 【期間】平成17年4月から平成18年3月まで
- 【時間】午前9時から午後2時まで【昼食】主食(ごはん)のみ持参【服装】制服、制帽
- 休園日 毎週土・日曜日、国民の祝日、学年末・学年始休業日(3月26日〜4月6日)、夏季休業日(7月21日〜8月31日)、冬季休業日(12月24日〜1月6日)

■入園の手続き 入園申請書を1月11日(火)〜31日(月)

保健と福祉

突然体調が…。そんな時 休日・夜間当番医

- 《休日》午前9時〜午後6時
- 12月5日(日) 平岡医院 (甲田町)
- 12月12日(日) 佐々木クリニック (吉田町)
- 12月19日(日) 八千代病院 (八千代町)
- 12月23日(祝) 佐々木医院 (向原町)
- 12月26日(日) 白川医院 (向原町)
- 12月31日(金) 竹本外科胃腸科医院 (八千代町)
- 【外科】胃腸科 TEL.52-3656
- 【休日・夜間】24時間対応 吉田総合病院 (吉田町)
- 【救急診療所】TEL.42-0636

お役立ち情報

- 市役所本庁
TEL.42-2111代
(総務部、自治振興部、市民部、福祉保健部)
- 市役所第1分庁舎
TEL.47-4021代
(産業振興部)
- 市役所第2分庁舎
TEL.47-1201代
(建設部)
- 市役所第3分庁舎
TEL.42-0049代
(教育委員会)
- 消防本部
TEL.42-0931代
- 八千代支所
TEL.52-2111代
- 美土里支所
TEL.54-0311代
- 高宮支所
TEL.57-0311代
- 甲田支所
TEL.45-4111代
- 向原支所
TEL.46-3111代



AKITAKATA Information

愛の贈り物…「献血」

保健医療課 ☎42・5619
 ■とき 12月1日(水)
 午前9時30分～11時
 ■ところ 安芸高田市 甲田支所

各種相談・検診の日程

芸北地域保健所 保健課
 ☎(082)814・3181
 「ひきこもり」の相談
 ■とき 12月16日(木)
 午後1時30分～3時30分
 (相談は事前に連絡してください。予約制。秘密は厳守します)

HIV抗体検査

■とき 12月13日(月)
 午前9時～11時
 (毎月第4月曜日)
 ■ところ 芸北地域保健所 第2庁舎2階指導室

子どもの発育・発達・心の相談 定期巡回相談

広島県中央児童相談所
 ☎(082)254・0381
 ■とき 12月20日(月)
 午前10時30分～午後3時
 ■ところ 農林局高田地方農村整備事業所(吉田町常友 村整備事業所、心理判定員が相談に心じます。相談希望者は広島県中央児童相談所か保健医療課、各支所保健師まで連絡してください。)

酒をやめたい、酒で困っている、またその家族の相談に 断酒会

広島断酒ふたば会 中村忠
 ☎43・1605
 ■とき・時間
 12月6日(月) 例会
 午後7時～午後9時
 12月25日(土) 例会
 午後7時～午後9時
 12月26日(日) 例会
 午後2時～午後4時
 ■ところ 吉田公民館
 ※詳しい内容は、広島断酒ふたば会へお問い合わせください。

育児で悩んでいませんか？ 市内全域対象の子育て相談室

保健医療課 ☎42・5619
 ひとりで悩まず、負担感や不安感をだれかに聞いてもらうのも気持ちが良い方法です。次のとおり子育て相談室を開催します。
 ■とき 12月16日(木)
 午後1時～午後4時
 ■ところ 田園パラッツォ相談室

不妊専門相談センターをご利用ください

広島県健康増進・歯科保健室
 ☎(082)513・3078
 広島県では、不妊に関する様々な悩みの相談や情報提供を行うセンターを開設しています。
 相談は無料で、秘密は固く守ります。お気軽にご利用ください。※ただし、特定の医療機関の紹介はできません。
 【電話相談】
 ■相談できる日
 ○毎週水曜日
 午後5時30分～7時30分
 ○毎週木曜日
 午後4時～7時
 (祝日・年末年始は休み)、
 ■専用電話 082-256-5610

年末年始歯科休日当番医

12月30日(木)
 桂歯科医院(吉田町)
 TEL.42・2030
 12月31日(金)
 黒岩歯科医院(向原町)
 TEL.46・2123
 1月1日(土)
 谷歯科医院(八千代町)
 TEL.52・3939
 1月2日(日)
 貞岡歯科医院(吉田町)
 TEL.42・2885
 1月3日(月)
 近藤歯科医院(八千代町)
 TEL.52・7777

環境と生活

12月のし尿収集
 下水道課 ☎47・206
 年末はし尿収集量が非常に多くなり、収集できない場合がありますので、し尿収集を希望されるご家庭は、12月15日までに、お申し込みください。早めの申し込みにご協力をお願いします。

お知らせ

安芸高田花火大会
 協賛金総額2,150,348円
 10月27日(水)、第1回安芸高田花火大会実行委員会総会を開催しました。総会では、今回の大会を振り返り、シャトルバスを含め、交通の混雑やトイレの数が少ないなどの反省点を話し合いました。協賛金と募金箱の集計もいたしました。協賛金は、2,150,348円(事業所226件、個人103件)、募金箱へは、316,693円寄せいただきました。その内1,456,095円を1万発の花火をあげることを目的に、基金として積み立てをさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

「食」のさんぽ道

地場産を食べようがい

～食生活改善推進協議会 甲田支部～
 10月30日(土)「地域の特産品をしっかりとって寒さを乗りきろう！」と女性会を対象に調理実習を行いました。
 飽食の時代ですが、質素な中に知恵や工夫や愛情がたっぷり込められたふるさとの味を楽しみました。



黒大豆すし 材料(3合分)

- 黒大豆……………1カップ
- 米……………3合
- ごぼう……………1/2
- にんじん……………少々
- 油アゲ……………1枚
- 酢・砂糖・塩で合わせ酢を作る



1. 一晩黒大豆を水にかしておく。(この水を後で使うので捨てないで!!)
2. ご飯を炊く。(かしておいた黒大豆と水を加える。)
3. ごぼうとにんじん、油アゲは我が家の寿司具の味で煮ておく。
4. 炊き上がったご飯と寿司具、合わせ酢をまぜると色の変化がおきる。



なお、新年は1月4日から受付になります。
 ■し尿収集申し込み先
 本所下水道課か各支所業務管理課まで
 ※12月29日～1月3日の緊急連絡先
 ▼高田環境衛生興業(株)
 TEL.42・2028
 ▼(有)国司衛生興業
 フリーダイヤル
 0120-00-2537
 TEL.42-3089
 ▼(有)日之丸衛生社
 フリーダイヤル
 0120-02-2007
 TEL.42-2007

犬猫は責任をもって飼いましょ
 市民生活課 ☎42・5616
 捨て犬・捨て猫がいて、困るといふ苦情が多くあります。飼い犬・飼い猫を捨てることのないように、次のことを守りましょう。
 犬・猫の飼い主は、飼うことのできる数だけ飼ってください。増えて飼えなくなる前に、前もって去勢手術や不妊手術オス・メスの分別飼育などで繁殖しないようつとめましょう。犬・猫がやむを得ず飼えなくなった場合は、本庁か各支所の市民生活課にご相談ください。

年末年始のごみの収集日
 市民生活課 ☎42・5616
 年末年始のごみの収集日ときれいセンターへ持ち込める日は次のとおりです。
 ■きれいセンターへのごみの持込み
 12月27日(月)～30日(木) 通常どおり、受付します。(午前9時～12時と午後1時～4時)
 12月31日(金) 午前中のみ受付します。(午前9時～12時まで)
 1月1日(土)～3日(月) 受付しません。
 1月4日(火)～通常どおり、

受付します。(午前9時～12時と午後1時～4時)
 ◎きれいセンターへのごみの直接持ち込みは、できるだけ早めに(24日ごろまで)にお願いします。(昨年度は、1時間以上待っていたいた日があります。)
 ■ごみの組合収集
 12月27日(月)～31日(金) 収集します(各支所のカレンダー1日程による)
 1月1日(土)～3日(月) 収集しません。
 1月4日(火)～収集します(各支所のカレンダー1日程による)

国民年金保険料の掛金は所得から控除されます

市民生活課 ☎42・5616
 国民年金の保険料は、所得税の申告の際に申告すれば「社会保険料控除」として所得から控除されます。
 自分の国民年金の保険料はもちろん、家族の保険料を納めた場合も控除の対象となります。
 平成16年1月から12月までに納めた保険料を忘れずに申告してください。

お役立ち情報

- 市役所本庁
TEL.42-2111代
(総務部、自治振興部、市民部、福祉保健部)
- 市役所第1分庁舎
TEL.47-4021代
(産業振興部)
- 市役所第2分庁舎
TEL.47-1201代
(建設部)
- 市役所第3分庁舎
TEL.42-0049代
(教育委員会)
- 消防本部
TEL.42-0931代
- 八千代支所
TEL.52-2111代
- 美土里支所
TEL.54-0311代
- 高宮支所
TEL.57-0311代
- 甲田支所
TEL.45-4111代
- 向原支所
TEL.46-3111代



AKITAKATA Information

第56回人権週間 「育てよう 一人一人の人権意識 —身近なことから人権を 考えてみませんか—」

人権推進課 ☎42・1126

12月4日から10日までが人権週間です。1948年(昭和23年)12月10日、第3回国連総会で世界人権宣言が採択されました。この宣言は世界の平和と人類の幸福を願って、人間は誰でも、人間としての尊厳と価値が認められ、人間として当然に持っている基本的権利を、お互いに尊重しなければならないことを表明したものです。

わが国の「人権週間」も、この世界人権宣言の採択に由来しています。この人権週間を機に私たち一人一人が主体的に豊かな人権意識を育て、明るく住みよい社会をつくりましょう。

吉田運動公園・吉田サッカー公園 年末年始休園日

吉田運動公園 ☎42・1010
吉田サッカー公園 ☎42・1600

年末年始にかけて、両施設の休園日は次のとおりです。
12月29日(水)～1月3日(月)
※なお、吉田運動公園は1月4日から平常どおり開園します。吉田サッカー公園は1月4日から6日まで午後5時30分に閉園、7日から午後9時に閉園します。ご了承ください。

平成17年度利用受付

吉田運動公園と吉田サッカー公園の新年度の利用受付を開始します。安芸高田市の方の予約は、利用日の3カ月前から申請ができます。(市外の方は1カ月前からの受付) 例えば4月1日の利用は、1月4日から予約申請ができます。

地域の行事・イベントなどを計画されている団体は、年内にお問い合わせください。

お詫び

広報あきたかた11月号のおよろこびのコーナーで、届出の際に掲載を希望されない方のお名前を、誤って掲載してしまうという過ちを犯してしまいました。ご迷惑をおかけした方に対しまして深くお詫び申し上げます。今後はより一層、確認体制を強め、誤りをなくしていくように努めます。申し訳ございませんでした。

お詫びと訂正

広報あきたかた11月号のおくやみの中で一部誤りがありました。お詫びいたしますとともに訂正させていただきます。

八千代町 井野シゲ子さんの年齢
正 88 誤 74

お知らせ

このおよろこびとおくやみは安芸高田市内の窓口で届出をされた方で、掲載を承認された方のみ掲載するようにしています。市外で届けられた方で名前の掲載を希望される方は、企画課 ☎42-5612までご連絡ください。

市内の図書館より

- ★吉田図書館 (吉田公民館内)
- ★八千代図書館 (八千代人権福祉センター内)
- ★美土里図書館 (美土里生涯学習センターまなび内)
- ★田園パラッツォ図書館 (高宮田園パラッツォ内)
- ★甲田図書館 (甲田若者定住センターミュージズ内)
- ★向原図書館 (向原公民館内)

図書館からおすすめの本

★吉田図書館



『あたりまえだけど、とても大切なこと』
ロン・クラーク/著
本書の50のルールは、子どもたちがいきいきと学校生活を送れるように、社会に出てからも充実した人生を送れるようにとの願いをこめて、つけられました。礼儀やマナー、社会のルールを守ることの大切さを、親子で一緒に考える本。子ども版「みんなのためのルールブック」も蔵書あり。

★八千代図書館



『白鷹伝』
山本兼一/著
白鷹と鷹匠との誇りをかけた対峙。更には、鞭鞭(だったん)人の鷹使いメルゲン、密かに想いを寄せるお市の方を配し、信長、秀吉、家康と仕えた天下一の鷹匠の生涯を描いた時代大作。

★美土里図書館



『暗黒童話』
乙一/著
事故で片目と記憶を失い、眼球移植を受けた「私」は、時折頭の中で再生される映像の源を追って旅に出る…。ホラー好きの人におすすめです。

★田園パラッツォ図書館



『お父さんとエクササイズ! 子どもの体力再生』
中村裕/監修
今、子どもの体力が大ピンチ! 遊びを通して、親子で楽しみながら子どもの体力を再生しましょう。

★甲田図書館



『小学生身の回りの不思議ぎもんランキング』
ぎもんランキング編集委員会/編
「録音した自分の声は、なぜ変なの?」「地下鉄の車両は、どうやって地下に入れる?」など、身近な暮らしに関する小学生の疑問を、興味が高い順に集める。

★向原図書館



『世界がもし100人の村だったら』
池田加代子/再話
C.ダグラス・スミス対訳
世界には63億人の人がいますが、もしそれを100人の村に縮めるとどうなるでしょう。100人のうち…

＊ およろこびとおくやみ ＊

およろこび

地域	名前	性別
吉田町	世羅幸志郎	男
	山廣謙太	男
	三好穂乃郁	女
	三佐々川聖也	男
	本田真斗	男
八千代町	政池沙姫	女
	坂井悠来	女
	辻川理緒	女
	船本栞那	女
	二山颯太	男
美土里町	一瀬遼平	男
	立川朔也	男
	高橋咲帆	女
	田中睦	女
	小早川慶斗	男
高宮町	沖田朝陽	男
	沖田耕陽	男
	浅井李音	女

おくやみ

地域	名前	歳
吉田町	谷岡ミサコ	72
	山中 實夫	89
	仁井美智恵	79
	上國 才一	96
	聖川百合子	77
甲田町	入江 逸次	92
	松本トミ子	82

八千代町	佐々木朝子	97
	沖本 正人	76
	大道 正悟	88
	平野ヨシ子	93
	山本ヒサヨ	87
美土里町	川元キミヨ	96
	角田スアコ	88
	城美 浅一	90
	平野 良子	71
	寄野 武夫	78
高宮町	上田 誠	71
	有松オツヤ	91
	谷本スミコ	93
	栗原 俊二	58
	政岡 満則	68
甲田町	吉原カズ子	79
	児玉 増美	84
	土居ハツミ	89
	市川 良子	84
	吉本 年明	87
向原町	奥田 久正	70
	古川 圭三	84
	土井 勝	77
	兼村 良人	97
	下間 節子	90
谷増 清春	73	

(敬称略)



今月の納税

固定資産税

3期

納期限: 12月27日

各支所発

情報掲示板

八千代掲示板

八千代支所市民生活課 ☎ 52-2113

【健康相談】
午前の部10:00～11:30/午後の部13:30～15:00
12月 2日(木)午前 人権福祉センター
3日(金)午前 土井集会所/午後 大又集会所
14日(火)午前 黒瀬集会所/午後 下根基幹センター

【リハビリ】12月8日(水)・22日(水)
いずれも13:30～15:30 人権福祉センター

【転倒予防教室】12月9日(木)・17日(金)
いずれも13:30～15:00 人権福祉センター

【健康教室プラス1】
12月13日(月)10:00～13:00 人権福祉センター
12月21日(火)10:00～13:00 上根集会所

【育児相談】
12月6日(月)10:00～11:30 人権福祉センター

【乳児健康診査】
12月16日(木) 受付13:00～13:30 人権福祉センター

対象(前期)H16・5・16～H16・7・15生
(後期)H15・11・16～H16・2・15生
対象者には個人通知します。

【ツベルクリン反応検査・BCG接種】
ツベルクリン反応検査11月30日(火)/BCG接種12月2日(木)
受付13:00～13:30 人権福祉センター

【子育て教室】
12月15日(水)10:30～11:30 人権福祉センター

【犬・猫の引き取り】
12月6日(月)9:27 B&G海洋センター/14:00 上根集会所

八千代教育分室 ☎ 52-2115

【移動図書館さわやか号】
根野地区12月15日(水)/刈田地区12月16日(木)

【おはなし会】
12月11日(土)11:00～11:30人権福祉センター研修室

【読書会】
12月11日(土)13:30～15:30人権福祉センター研修室

甲田掲示板

甲田支所市民生活課 ☎ 45-5120

【健康相談】
午前の部10:00～11:30/午後の部13:30～15:00
12月 6日(月)午前:小原中央集会所
21日(火)午前:小原中央集会所
午後:ふれあいセンターこうだ

【リハビリ】
12月 1日(水)13:30～16:00 ふれあいセンターこうだ
12月22日(水)10:30～14:00 ふれあいセンターこうだ

【すこやか健康教室⑥】12月17日(金)9:30～13:30
ふれあいセンターこうだ ～高脂血症予防～

【育児相談】
12月15日(水)10:00～11:00 ふれあいセンターこうだ

【にこにこわんぱく教室(幼児親子教室)】
12月20日(月)13:30～15:00 ふれあいセンターこうだ

【ひよこくらぶ(乳児親子教室)】
12月15日(水)13:30～15:00 ふれあいセンターこうだ

【ツベルクリン反応検査・BCG接種】
ツベルクリン反応検査12月7日(火)/BCG接種12月9日(木)
受付13:00～13:20 ふれあいセンターこうだ
※対象者には個人通知します。

【犬・猫の引き取り】12月9日(木)10:20 甲田支所

甲田教育分室 ☎ 45-4311

【かみしばい会(クリスマス会)】
12月18日(土)14:00～15:30 ミューズ

【移動図書】12月3日(金)・17日(金)16:00～17:30
小田小学校・小原保育所・ケアハウス

【市民セミナー】12月22日(水)13:30～16:00 ミューズ

【けんみん文化祭芸北地区フェスティバル(安芸高田会場)】
12月12日(日)9:40～15:00 ミューズ

向原掲示板

向原支所市民生活課 ☎ 46-3113

【健康相談】
午前の部10:00～11:30/午後の部13:30～15:00
12月 2日(木)午前 坂15区健康教室
6日(月)午前 明治健康教室
7日(火)午前 和楽会健康教室/午前 長寿会健康教室
8日(水)午後 和光会健康教室
10日(金)午前 本通り健康教室
午前 観音クラブ健康教室

14日(火)午前 赤柴明生会健康教室
午後 寺山健康教室
15日(水)午前 寿徳会健康教室

【育児相談】
12月22日(水)9:30～11:30 向原保健センター

【転倒予防教室】12月10日(金)・16日(木)・20日(月)
13:30～15:00 向原保健センター

【犬・猫の引き取り】12月6日(月)・20日(月)14:50 向原支所

吉田掲示板

吉田運動公園 ☎ 42-1010

【吉田町ふれあいソフトバレーボールリーグ交流会】
12月12日(日)

【みつやの里スポーツクラブブチ交流会】
12月25日(土) 餅つき大会

吉田サッカー公園 ☎ 42-1600

【みつやの里スポーツクラブサッカー交流大会U-10】
12月11日(土)

吉田人権会館(旧隣保館) ☎ 42-2826

【くらしの総合相談会【心配ごと相談・行政相談・人権相談】】
12月2日(木)・16日(木) いずれも10:00～15:00

保健医療課 ☎ 42-5619

【健康相談】
午前の部10:00～11:30/午後の部13:30～15:00
12月 1日(水)午前:於手保集会所
午後:上市集会所
2日(木)午前:常友消防コミュニティ
3日(金)午前:沖原集会所
6日(月)午前:竹原集会所/午後:下福原集会所
7日(火)午前:山部集会所/午後:大浜集会所
8日(水)午前:新屋郷集会所
9日(木)午前:入江沖集会所
15日(水)午前:印内集会所
20日(月)午前:西浦下集会所
21日(火)午前:小山集会所/午後:長屋集会所
22日(水)午前:下中馬集会所

【リハビリ】12月13日(月)13:30～15:30 吉田人権会館

【さわやか健康教室】
12月3日(金) バランス良く食べよう②
10:00～13:00 吉田運動公園
お問い合わせ:保健医療課保健師 ☎ 42-5619

【健康教室】生活習慣病予防は食生活の見直しから
③血液をさらさらに!(高脂血症予防)
可愛集会所 12月 7日(火)
丹比生活センター 12月15日(水)
ふれあいセンターいきいきの里 12月17日(金)
郷野コミュニティ集会所 12月20日(月)

※ 時間:午前10時～午後1時
当日は米5勺、エプロン、三角巾、筆記用具を持参してください。

【育児相談】 12月16日(木) 10:00～15:00(正午から1時間休み) ふれあいセンターいきいきの里

【乳児健康診査】
前期:12月2日(木) 対象:H16年5月～7月生
後期:12月9日(木)対象:H15年12月～H16年2月生
ふれあいセンターいきいきの里 受付13:00～13:15
※対象者には個人通知します

市民生活課 ☎ 42-5616

【犬・猫の引き取り】
12月6日(月)・20日(月)9:00 市役所本庁

美土里掲示板

美土里支所市民生活課 ☎ 54-0313

【にこにこ会】12月21日(火)10:30～15:00 山村開発センター

【ふれあい塾】12月14日(火)10:00～14:00 山村開発センター

【いきいき健康教室】
12月17日(金)10:00～11:30 山村開発センター

【あかちゃん教室】12月22日(水)10:00～12:00 山村開発センター

【BCG予防接種】12月2日(木)13:00～13:30受付 山村開発センター

【生活習慣病予防教室】12月1日(水)9:30～13:30
12月8日(水)13:30～16:00 山村開発センター

【乳児健診】12月10日(金)13:00～13:30受付 山村開発センター
前期対象:H16.6～H16.8生まれ 後期対象:H15.12～H16.2生まれ

【犬・猫の引き取り】12月9日(木)9:40 美土里支所

美土里教育分室 ☎ 59-2120

【げんき広場】
12月 1日(水)・14日(火) クリスマス会準備
12月15日(水) クリスマス会
いずれも10:00～11:30 山村開発センター

高宮掲示板

高宮支所市民生活課 ☎ 57-0313

【望会(リハビリ)の集い】
12月1日(水)・15日(水)13:30～15:30 田園パラッツォ

【遊友ひろば】(園庭を開放します)
12月 7日(火)かわね保育園
12月21日(火)ふなさ保育園
いずれも9:30～11:30

【育児相談】
12月14日(火)10:00～12:00 基幹集落センター

【犬・猫の引き取り】
12月14日(火) 10:40 安芸高田市高宮支所

高宮教育分室 ☎ 57-1803

12月11日(土)14:00～14:30 おはなしタイム
田園パラッツォ図書館